

平成28年度主要事業説明資料

◇ 「キーワードは『子育て』・『定住』・『市民力』」

戦略的投資でスタートダッシュ

(P1)

- ◆ 子育て・健康長寿への投資 ◆ 住み続けたくなるまちへの投資
- ◆ 未来を拓く市民への投資

◇ 主要プロジェクト

- | | | |
|----|--------------------------|-------|
| 1 | “育ちの森” トータルサポート事業 | (P2) |
| 2 | “子育て応援” 子ども・子育て支援事業 | (P3) |
| 3 | 教育ICT推進事業 | (P4) |
| 4 | 総合体育館整備事業 | (P5) |
| 5 | ICT街づくり推進事業 | (P6) |
| 6 | 歩いて楽しいまちづくり・サイクルタウン推進事業 | (P7) |
| 7 | 豊沢工業団地整備事業 | (P8) |
| 8 | 袋井ブランド農産物パワーアップ事業 | (P9) |
| 9 | 袋井消防庁舎・(仮称)袋井市防災センター整備事業 | (P10) |
| 10 | 袋井幸浦の丘プロジェクト | (P11) |
| 11 | シティプロモーション推進事業 | (P12) |
| 12 | 袋井宿開設四〇〇年記念事業 | (P13) |

◇ 主要事業一覧

(P14)



キーワードは『子育て』・『定住』・『市民力』 戦略的投資でスタートダッシュ！

【子育て・健康長寿への投資】



① “育ちの森” トータルサポート事業

本年1月に子ども早期療育支援センター「はぐくみ」を移転し、全面オープンした子ども・子育て支援エリア“育ちの森”について、“育ちの森”所長を配置して、エリア内の各施設の連携強化を図り、0歳から18歳まで切れ目のない子育て支援サービスを提供します。

【“子どもや子育て世代が輝く” まち】

- ②(新) “子育て応援” 子ども・子育て支援事業 ●(新) 産婦人科医院開業等支援事業
- ③(拡) 教育ICT推進事業 ●(拡) いじめ・不登校未然防止支援事業
- (新) ふくろい子育て応援パ「フッピ」のぽっけ」本格運用 ●(新) アクティブ育児応援プログラム推進事業
- (新) コミュニティ・スクール推進事業 ●(新) 教育施設維持管理事業（小中学校増築）

【“健康長寿”で暮らしを楽しむまち】

- (新) 3Days Worker's Office構想推進事業
- (新) 科学的健康増進プログラム開発事業
- (拡) 総合健康センターの充実
- ④(新) 総合体育館整備事業
- (新) 糖尿病予防・撃退推進事業
- (新) 健康塾開催事業



【住み続けたいまちへの投資】

⑤ ICT街づくり推進事業

ラグビーW杯開催などに向けて、国内外の観光客等が無料で利用できる「Wi-Fi」を主要な観光スポットなどに整備するとともに、開かれた行政を推進するため、行政が保有する公開可能な様々なデータを市民や企業などが自由に使えるよう「行政情報のオープンデータ化」を積極的に進めます。



【“魅力的な住環境”で快適に暮らせるまち】

⑥(新) 歩いて楽しいまちづくり・サイクルタウン推進事業

- (新) デマンドタクシーの導入
- (拡) 袋井駅南地区まちづくり
- (新) 若者が魅力を感じる公園づくり
- (拡) みつかわ夢の丘公園整備事業
- (新) 給食野菜くず堆肥化プロジェクト
- (新) 住生活基本計画の策定
- (拡) 資源ごみ拠点回収事業

【革新と創造で“活力みなぎる産業”のまち】

⑦(新) 豊沢工業団地整備事業

- (新) 袋井商業高校5年制化推進事業
- ⑧(新) 袋井ブランド農産物パワーアップ事業
- (新) 門前活性化プロジェクト
- (新) 新観光案内所のオープン
- (新) ふくろい創業支援事業
- (拡) 小笠山山麓開発事業



【未来を拓く市民への投資】



⑪ シティプロモーション事業

本年1月に就任した本市出身の著名人など「ふくろい未来大使」をはじめ、SNSなどを活用して情報発信する「市民ブロガー」の育成や、多彩な返礼品の創出による「ふるさと納税制度」の積極的な活用促進などにより、本市の全国的な知名度向上や魅力アップを図る「シティプロモーション事業」に取り組みます。



ふくろい未来大使(12人)

【みんなが“安全・安心”に暮らせるまち】

⑨(新) 袋井消防庁舎・(仮称)袋井市防災センター整備事業 ⑩(新) 袋井幸浦の丘プロジェクト

- (新) 平成の命山整備事業
- (新) 災害現場等ドローン活用事業
- (新) 高尾第1幹線改修事業
- (新) 応急仮設住宅配置計画の見直し
- (新) 原子力災害時広域避難計画の策定
- (新) 家庭内減災対策推進事業
- (新) 自主防災隊避難所運営マニュアル作成
- (拡) 同報無線デジタル化整備事業

【“市民一人ひとりが主役”のまち】

- (新) 公民館コミュニティセンター化事業
- (新) ふくろい市民映画の製作
- (新) 日本一健康文化都市条例の施行
- ⑫(新) 袋井宿開設四〇〇年記念事業
- (新) 袋井スポーツドリーム事業
- (拡) 学校支援地域本部推進事業



“育ちの森” トータルサポート事業

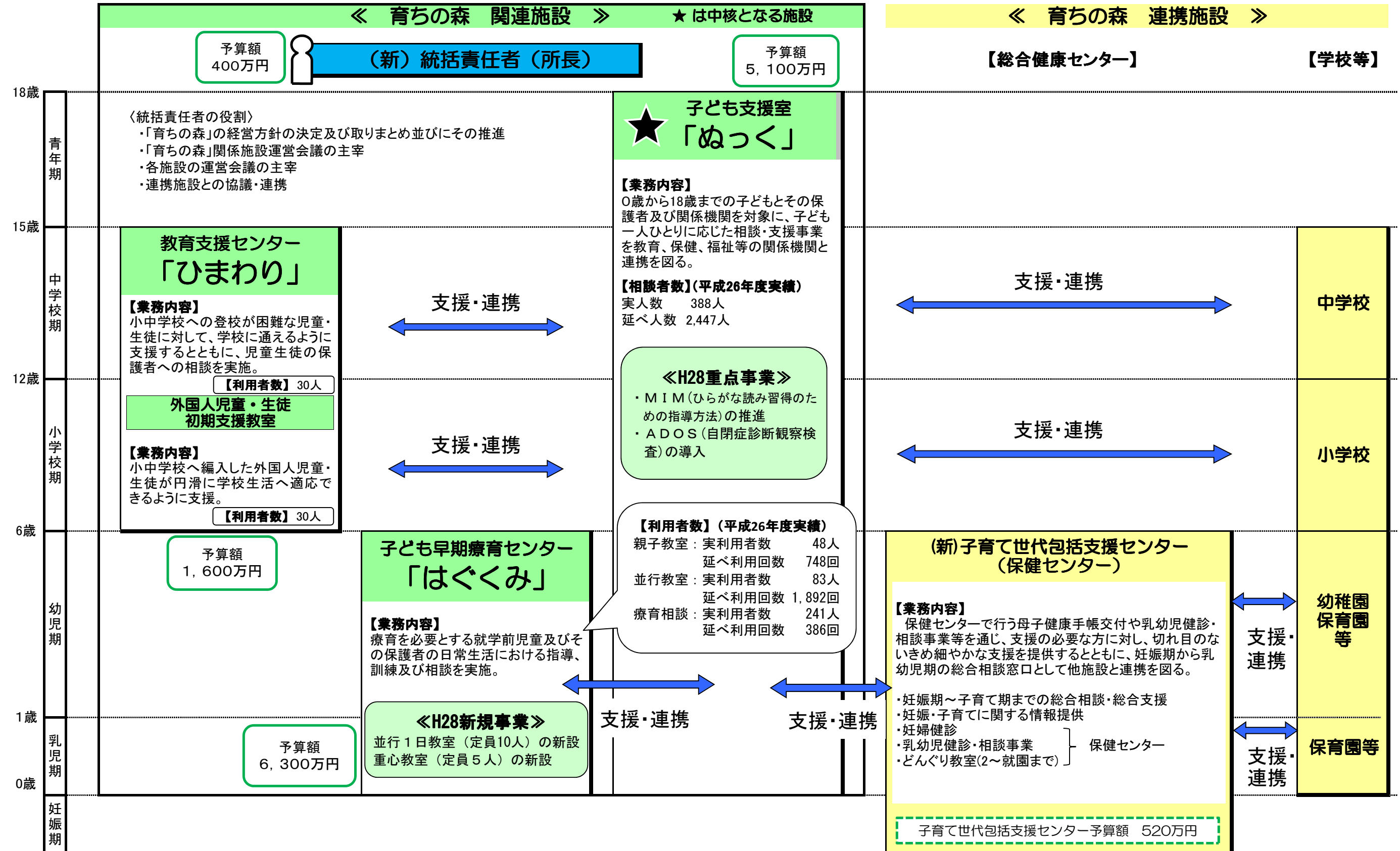
予算額
1億3,400万円

●「育ちの森」概要

教育、福祉に係る子ども支援施設を集約し、子ども支援の一体的なエリア「育ちの森」として、乳幼児期から青少年期にいたる子どもやその保護者を支援する体制を平成28年1月に整備し、運営を開始した。
また、市内の子どもに関連する機関と連携をする中で、子ども一人ひとりのニーズに合わせた適切で切れ目のない総合的、系統的な相談支援事業を実施する。
平成28年度から、新たに「育ちの森」を組織として設置する。（統括責任者として所長を配置）

●施設集約による有効性

①0歳～18歳までの相談支援を総合的に実施 ②こども支援室「ぬっく」が子ども支援の総合相談窓口となり施設間連携を強化 ③市内の関連機関と連携し、個々に応じた切れ目のない相談・支援を実施



“子育て応援” 子ども・子育て支援事業

～みんなで応援！安心子育て すこやか子育て～

予算総額
6億8,800万円

袋井市子ども・子育て支援事業計画（袋井市次世代育成支援行動計画）

人口減少社会に向けて、安心して子どもを産み育てられるような社会を実現するためにも、行政、家庭、地域、企業がそれぞれの役割を担いながら連携・協力を図り、市全体で、子ども・子育てを支援し、支え合える取組を進めていきます。

<基本施策>

①地域における子育てへの支援

身近な地域の様々な世代の人々が親子を応援できる環境整備の推進
様々な就労形態に対応できる、利用者の立場に立った多様な保育サービスの充実

②子どもにとって良質な教育・保育の提供

発達に応じた質の高い教育・保育の安定的な提供を通じ、子どものすこやかな成長を保障
保・幼・小の教職員が相互理解を深め、連携を強化

③すべての子どもの育ちを支える環境の整備

地域ぐるみで子育てに取り組める環境整備を推進

④仕事と子育ての両立の推進

勤務時間や生活スタイルの多様化に柔軟に対応できる子育ての環境づくりを推進。
子育てと仕事とのバランスのとれた働き方を支援する取組を推進

H28の主な取り組み

1

預かり保育の全園実施

予算 3,500万円

両親が就労等で家庭での保育が困難な場合、在園児を預かり、預かり保育指導員により、異年齢交流の良さを活かした温かい家庭的な保育を行っている。

平成28年度から、未実施園の袋井南・三川・笠原幼稚園にて実施。
→市内市立幼稚園全園で預かり保育を実施

3

放課後児童クラブの充実

予算 2億6,200万円

◆受入年齢の拡大

浅羽北小(5年生まで) 今井小、浅羽東小(6年生まで)

◆受入人数拡大のための新築、増改築(H29.4～定員260人の増)

新 設:袋井北小(久能地内民地)、笠原小((仮称)笠原認定こども園内)

増改築:袋井南小(袋井衛生センター内)、高南小(現施設の増築)、浅羽南小(余裕教室の改築)

◆各放課後児童クラブの運営

2

保育の受入児童数の拡充

予算 3億8,600万円

◆(仮称)笠原認定こども園の施設整備(H29.4～開園)

延床面積:1,081㎡ 定員:保育所50人 幼稚園40人 計90人

◆認可保育所移行のための運営費支援

MOE保育園てんじん園(H29.4～認可予定) 定員64人

◆認可保育所新設支援

めいわ月見保育園(H29.4～開園予定) 定員90人

◆小規模保育事業の開始意向がある2法人への施設改修費補助

(福)愛光会 (H29.4～開園予定) (福)三宝会 (H29.4～開園予定)

※(福)明和会も小規模保育開始予定(H29.4～開園予定)

4

病児・病後児保育の新規実施

予算 500万円

平成28年度から、ひだまり保育園において病児・病後児保育を実施
(病児保育・・・病気の児童の一時預かりを行うことにより、保護者の子育てと仕事の両立を支援するとともに、地域における子育てへの支援を図る。)

実施場所:ひだまり保育園(月見町に移設し、平成28年9月から実施予定)

定 員:5人/日(予定)

利用料金:2,000円/日

保育日等:月～金曜日 午前7時30分～午後5時(予定)

教育 I C T 推進事業～袋井市情報化推進計画の推進～

予算額
9,900万円

事業の背景

【国：第2期教育振興基本計画(H26～29)における目標水準】

- ・教育用PC1台当たりの児童生徒数 3.6 人(市・現6.0人)
(コンピュータ教室40台、各普通教室1台、特別教室6台、設置場所を限定しない可動式コンピュータ40台)
- ・電子黒板・実物投影機の整備(1学級当たり1台)
- ・超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率 100%
- ・校務用コンピュータ 教員1人1台

平成32年度の新学習指導要領完全実施に向けて、国が示した目標水準を達成できるよう、学校のICT環境を整備していきます。

事業のねらい

【次世代を生きる子どもたちの学力保障】

- ・子供たちの学習への興味関心を高めることに有効
- ・子供たち一人一人の能力や特性に応じた学び(個別学習)の深化
- ・教員と子供たちが相互に情報伝達を図ったり、子供たち同士が教え合い学び合うなどの協働学習への発展
- ・次世代を生きるための最低限必要な情報活用能力を学校教育の段階で習得

【校務の情報化】

- ・よりきめ細かな指導が可能
- ・教員が子供たちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間が増加
- ・教育の質の向上と学校経営の改善(学校評価情報の処理と効果的な活用によるPDCAサイクル)
→ 保護者・地域への説明責任 → 地域とともにある学校に必要不可欠

～ICT機器を活用してわかる授業を行い、「確かな学力」を育成します～

平成28年度の取り組み

① 電子黒板機能付きプロジェクター・実物投影機(書画カメラ)を5小学校の全学級に導入

※電子黒板機能・・・写された画面上に、電子ペンでの書き込み、パソコン操作が可能

※実物投影機・・・簡単に子どものノートや教科書、資料等を大きく写すことが可能

分度器や三角定規、家庭科での縫い方など、手元を大きく写すことが可能

※H27年度に小学校3校へ先行導入

② ICT支援員の配置(プロジェクター等整備校)

ICTを活用して効果的で魅力的な教育実践を行うためのICT支援

→ ICTを活用したどの子にもわかる授業をどう作っていくか一緒に考えてもらう。

③ 校務支援ソフトの機能拡充

近隣市と同等に、成績処理、出欠管理、通信票作成等の機能を拡充する。

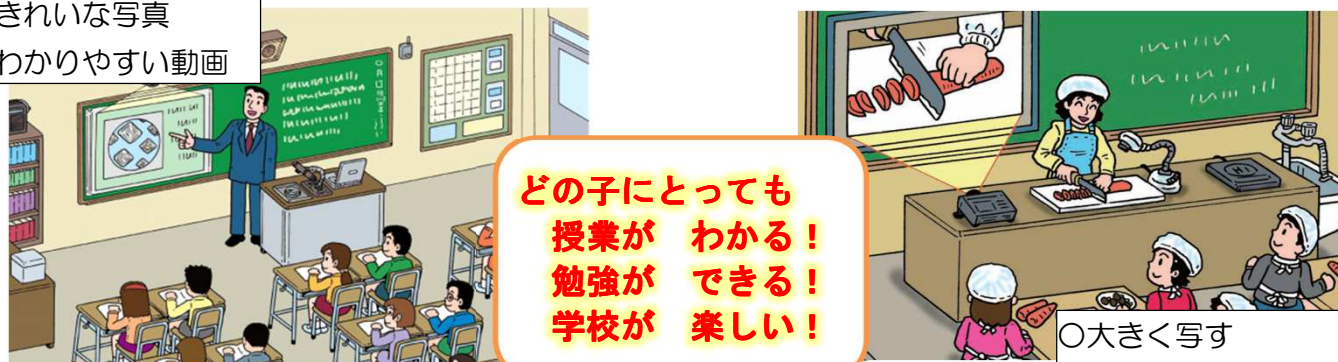
→ 校務の負担軽減を図り、子どもと向き合う時間やよりよい授業づくりのための時間を生み出す。
(期待される校務の軽減時間(学級担任1人あたり) 80時間)

④ 校務用兼授業用パソコン等の更新

⑤ デジタル教科書を全小学校に配備(国語・算数)



○きれいな写真
○わかりやすい動画



○大きく写す
○ポイントがわかる

出典:ICT教育環境整備ハンドブック

袋井市教育情報化推進計画(H27～H35)

《整備計画》

- ◆全小中学校への電子黒板機能付きプロジェクター、実物投影機の導入
- ◆全小中学校へのデジタル教科書導入
- ◆タブレット(学習指導用、グループ学習用)の導入
- ◆無線LANの整備
- ◆各種研修、情報モラル指導の充実
- など

(仮称) 袋井市総合体育館整備・運営事業

H28. 7月「入札公告」 H28. 12月「事業者決定」 H29. 2月「事業契約締結」

PFI事業者の募集 PFI事業者の審査・選定 PFI事業者と事業契約の締結
(設計～建設～維持管理・運営 18年間)

予算額:5,500万円

PFIアドバイザー業務委託料 2,800万円
周辺道路整備事業 2,700万円

※ なお、整備手法については、市民サービスの向上や事業費の軽減など高い効果が期待できるPFI手法の導入をすすめていきます。

整備目的

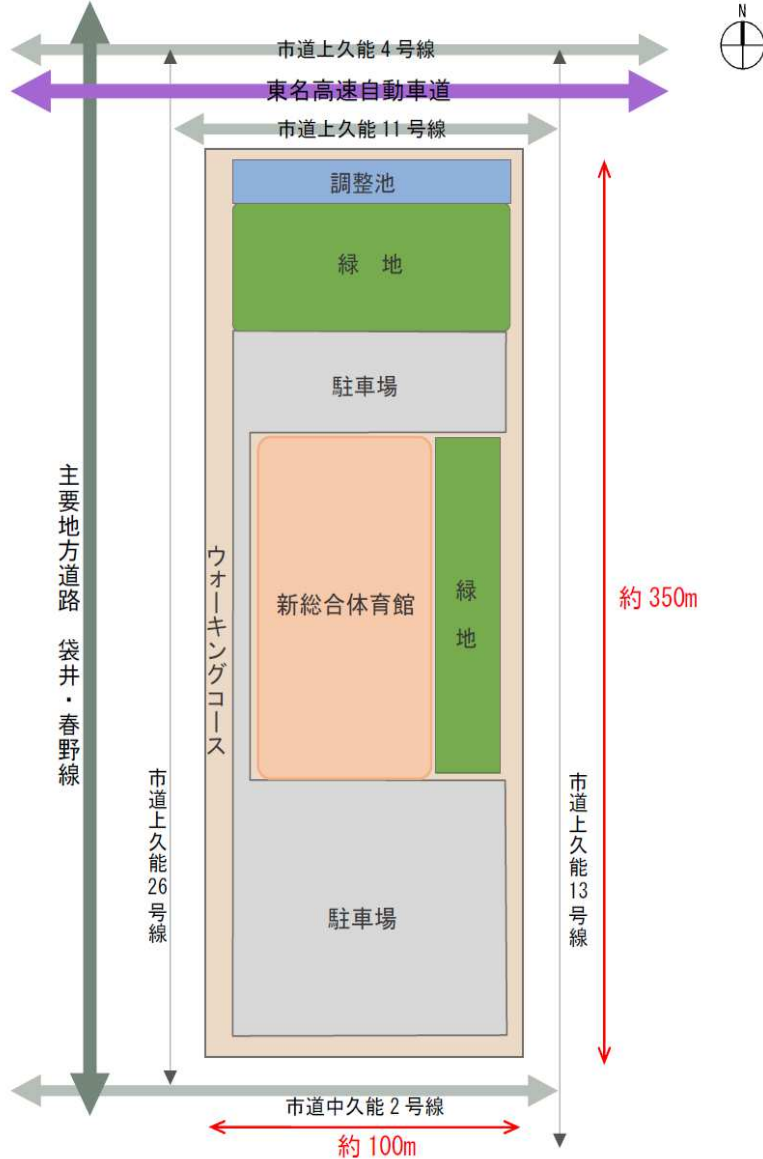
- 現在の袋井市民体育館は・・・
- ① 施設の老朽化と耐震性能が低い。(築40年以上)
 - ② 多様な市民ニーズに応えることができない。(付帯設備が古い)
 - ③ ユニバーサルデザインに対応できていない。

- 新たな市内のスポーツ拠点施設として・・・
- ◎ 競技スポーツの向上と市民スポーツを通じた交流の活性化
 - ◎ 市の防災拠点施設や指定避難所(収容人数:約1,500人)
 - ◎ PFI手法の導入により、「市民サービスの向上」「財政負担の軽減」「地域経済の活性化」を推進

基本コンセプト

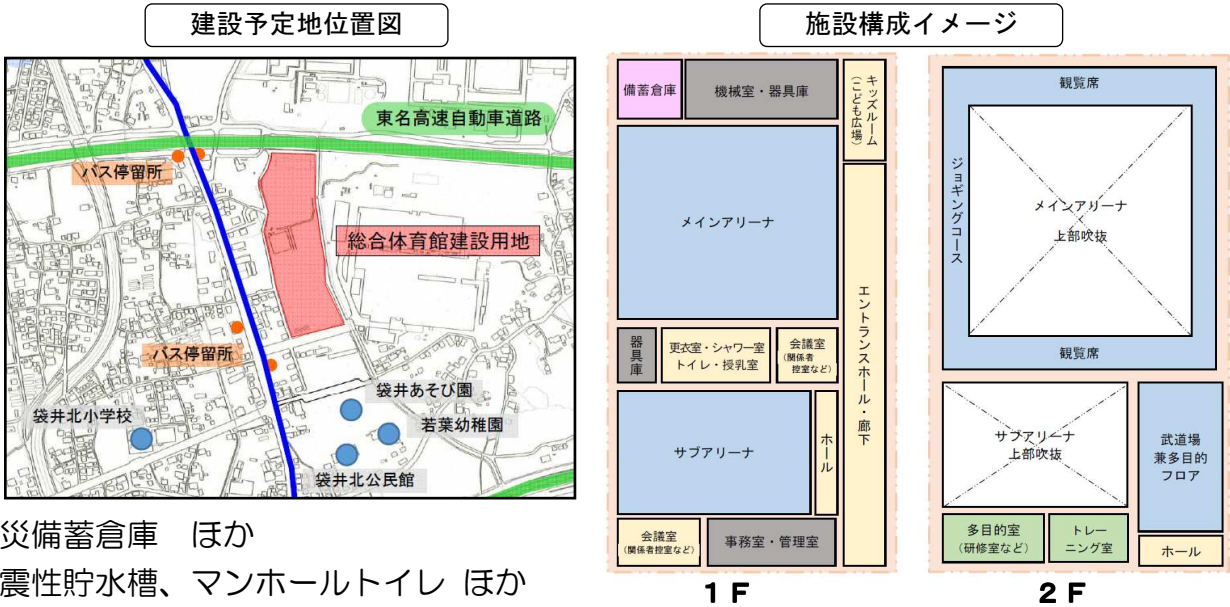


敷地全体配置イメージ



施設概要 (H28.1 実施方針公表時)

- ◆ 建設地 袋井市久能 1725-1 ほか
- ◆ 敷地面積 約 37,000 m² (駐車場約 450 台)
- ◆ 施設規模 約 7,300 m² (延床面積)
- ◆ 施設構成
メインアリーナ (バスケットボール×2面)
観客席、放送室
サブアリーナ (バスケットボール×1面)
屋内ジョギングコース、更衣室
武道場兼多目的フロア (剣道2面)
トレーニング室、多目的室 (研修室)
会議室、キッズルーム、授乳室、事務室
健康・体力相談室、スポーツ協会事務室、防災備蓄倉庫 ほか
- ◆ 屋外施設 ウォーキングコース、駐車場、緑地広場、耐震性貯水槽、マンホールトイレ ほか



事業スケジュール

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
PFI アドバイザー業務	アドバイザー業務 (H27. 7~H29. 3) ● 1月 実施方針・要求水準書 (案) の公表					
入札公告 事業者選定 事業契約締結		■ 7月 入札公告 ■ 12月 事業者決定 ■ 2月 事業契約締結				
基本設計・実施設計 造成工事・建設工事 開業準備			◆ 3月～ 設計・造成・建設期間 (H29. 3~H32. 1)			◆ 1月 竣工 開業準備期間 ★ 4月 供用開始

袋井市 ICT 街づくり推進事業

～ICTを活用した新たな袋井市の創生～

予算額5,600万円



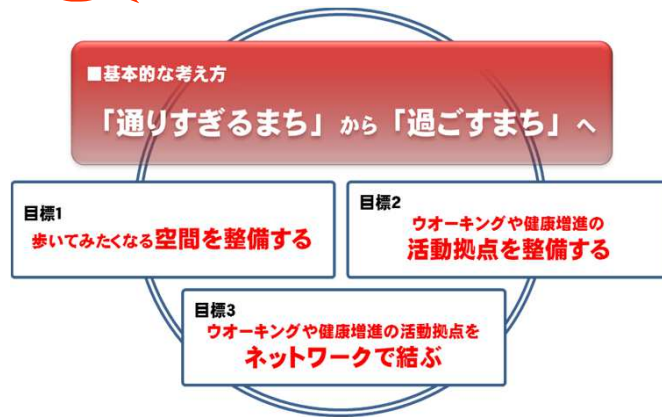
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
Wi-Fi環境の整備	- 市内Wi-Fi環境の整備方針の作成 - 市内Wi-Fi環境の整備 - 公共施設、観光案内所、観光施設、袋井駅周辺、愛野駅周辺への整備	- 市内Wi-Fi環境の拡充、利活用（農業振興への利活用） - 農業ICTへの取り組み開始（クラウンメロンのICT技術の導入、圃場実証への試験導入）	- 市内Wi-Fi環境の拡充、利活用（産業振興への利活用） - 産業振興へのWi-Fiの利活用 - 民間企業誘致へのICTの活用 - 豊沢工業団地へのブロードバンド整備
開かれた行政への取り組み	- 市民協働型の地域課題解決への取り組み - Fix My Streetの試験導入・効果検証 - オープンデータの利活用の促進 - 地域課題の整理、行政情報の掘り起こし - 公開可能な行政情報のオープンデータ化	- 市民協働型の地域課題解決への取り組み - 最適なシステムの導入（継続or新規） - オープンデータの利活用の促進 - 公開可能な行政情報のオープンデータ化 - アプリ開発（静岡理科大学とのコラボ）	- 市民協働型の地域課題解決への取り組み - 利用者の拡大 - オープンデータの利活用の促進 - オープンデータ利活用の研究 - アプリ開発（静岡理科大学とのコラボ）
「産・学・官」の連携した取り組み	- 民間のICT推進アドバイザーの導入・活用 「袋井市ICT街づくり推進会議」の設置		
電子自治体の推進	- 本庁、支所等ネットワークの再構築（番号制度対応、会議室のWi-Fi化） - ペーパーレス会議システム導入（タブレット30台導入） 5役会議、部長会議、各部内会議へ導入 - モバイルワークの試行	- 総合健康センターネットワーク再構築（総合健康センターのWi-Fi化） - 課長会議への導入 - 部内会議、庁内WG等貸出用共有端末の増設	- 職員用端末のタブレット化の検討（庁内事務スペースへのWi-Fi化の検討） - 部内会議、庁内WG、イベント等貸出用共有端末の増設

1 「歩いて楽しいまちづくり」とは

「歩いて楽しい」とは、人々が意図しなくても自然と歩いてしまう様々な魅力や仕組み、仕掛けづくりである。

歩くことは、健康増進に極めて有効であるとともに、快適な生活をおくり、また、地域経済や社会活動を活性化させるなど、様々なプラスの副次効果をもたらすことから、これからのまちづくりの方向性に「歩いて楽しい」の考え方を捉えることで、快適な歩行空間の形成や都市機能の充実、まちのにぎわい創出など、関連する事業をより効果的に実施し、「歩く環境」を整えていく。

2 基本的な考え方



3 先行的整備エリア

目標1 空間を整備 目標2 拠点を整備 目標3 ネットワークを整備

J R袋井駅周辺地区には、基盤整備をした街並み、原野谷川などの河川、自然空間、駅南口の開発、袋井宿の歴史など、さまざまな個性が存在する。これらの個性を活かし、四季を感じ、歩く楽しみを享受できる環境を形成するため、4つのゾーンを設定する。



4 ゾーン別事業内容

ゾーン	ゾーンの考え方	事業箇所	整備内容	総事業費	H28予算	スケジュール				
						H28	H29	H30	H31	H32
駅北ゾーン	駅前の一番大事な場所を市民の第二の居場所空間に 市民をはじめ、通勤・通学で駅を利用される方が、ぶらぶらと立ち寄り憩いの一時を過ごす場を提供	東通り	・照明施設のLED化 ・歩道の再生 ・イス、テーブルの設置等	検討中						
		西通り	・照明施設のLED化 ・街路樹による休憩箇所の設置等	検討中						
駅南新市街地	都市と郊外の魅力が融合する便利で快適な空間に 土地区画整理事業や商業・医療施設等の整備により市民の生活を支える空間を提供 水辺や広場による休憩場所として歩く人が交流する場を提供	駅南口 駅前広場周辺	・照明施設のLED化 ・駐輪場の整備等	検討中						
		商業施設・広場 緑道・水辺	田端東遊水池・広場整備	179,000	11,000					
		駅南循環線	駅南循環線整備	90,000	7,000					
		駅北口の西通りから連続するみどりの軸	田端自歩道1号線整備	89,000	4,000					
原野谷川	気軽に立ち寄れる豊かな自然空間に 駅から近距離にある開放感と季節感を感じられる広大な自然空間を提供	みずのネットワーク	・桜の植栽 ・休憩施設の整備等	検討中						
袋井宿	現代版の「袋井宿」でおもてなし空間に 市役所等の公益施設を利用する市民が一歩足を伸ばして安らぐ空間を提供	旧東海道	・ペーパメント (石を敷き詰めた歩道) ・標識、案内看板の設置等	検討中						
		四〇〇年祭記念公園	袋井宿開設四〇〇年メモリアル広場整備	79,000	45,000					
関連事業	まちなかにぎわいイベント 健康・福祉・スポーツ機能集積整備	旧東海道・スポーツ機能集積エリア	イベント開催事業 上久能26号線整備	111,000	40,000					

サイクルタウン推進事業

予算総額 230万円

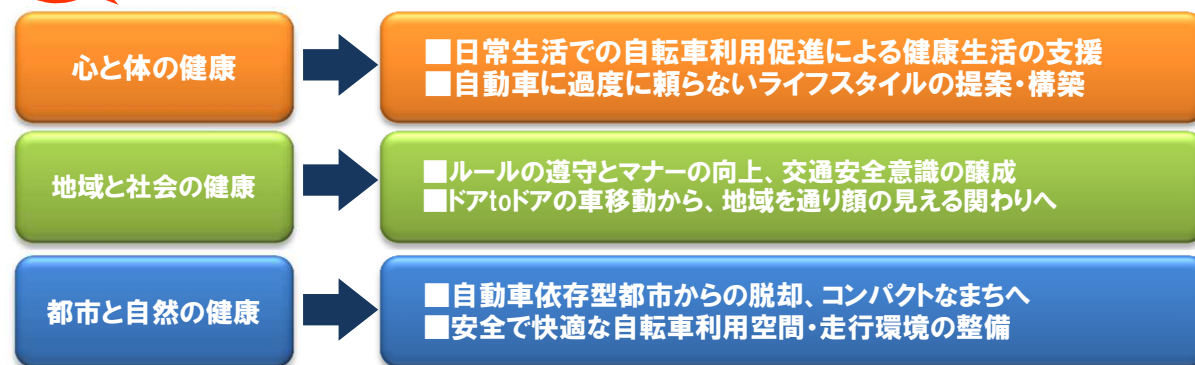
1 目的

本市は、①平坦地が多く、②日照時間も長く、③気候も温暖である、という、自転車利用に適した恵まれた環境を持つまちである。
このため、市民の身近な移動手段である「自転車」の持つ効果や可能性を再確認し、日常生活に取り入れた新たなライフスタイルの実現を目指すものである。

2 4つのメリット



3 基本方針



4 施策の体系

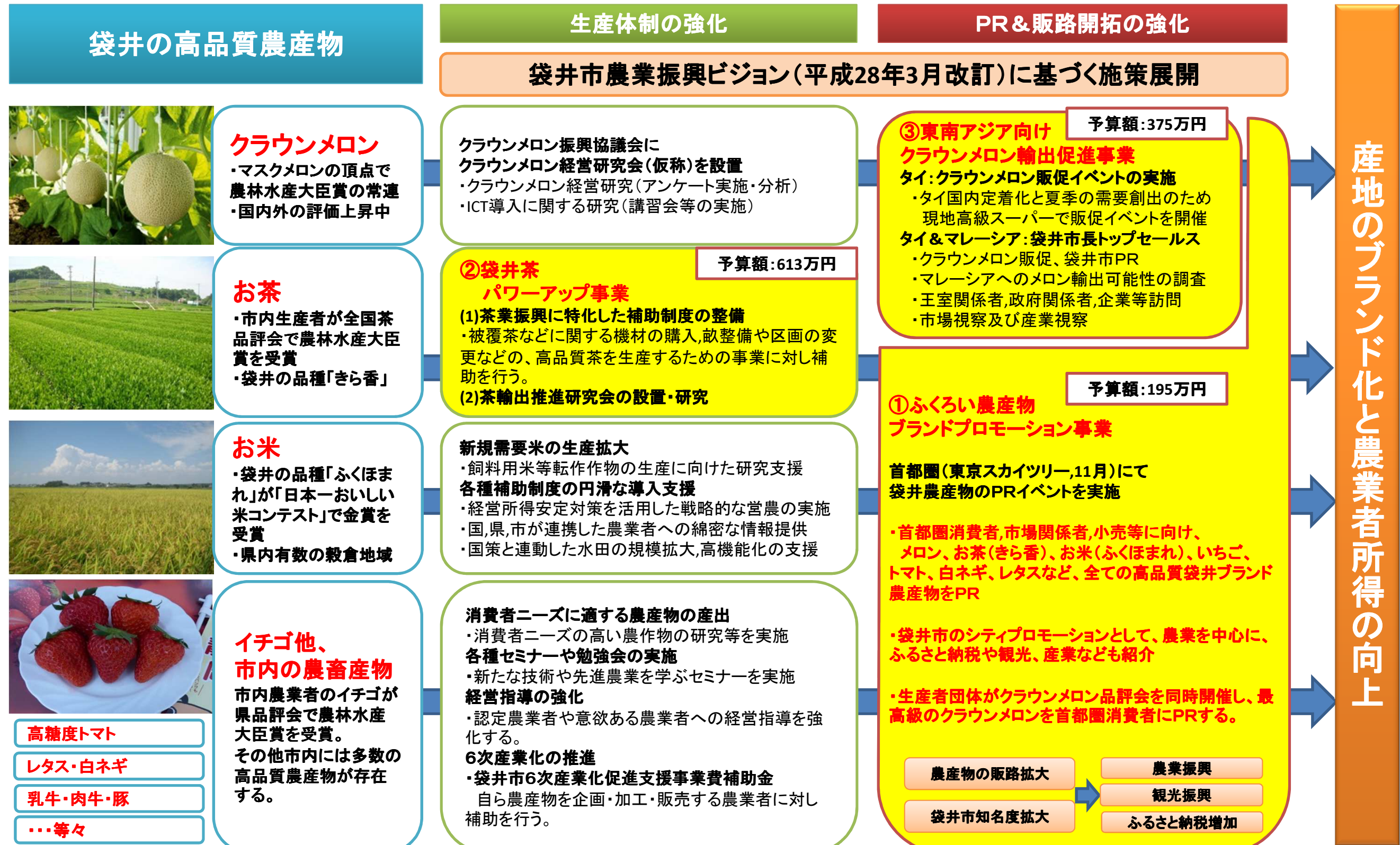
基本施策	具体的な施策案	H28予算	スケジュール				
			H28	H29	H30	H31	H32
心と体	自転車の貸出	776	●	○	○	○	○
	自転車の購入補助	550	>	○	○	○	○
	自転車通勤の促進		●	○	○	○	○
地域と社会	ルール遵守・マナー向上		●	○	○	○	○
	観光回避・レクリエーション		●	○	○	○	○
	利用・整備環境の向上		●	○	○	○	○
	コミュニティ（レンタ）サイクル		>	>	○	○	○
都市と自然	走行空間の整備	1,000	●	○	○	○	○
	都市交通・公共交通との連携		>	>	>	○	○
	災害の自転車利用促進		●	○	○	○	○
			>	>	>	○	○
			>	○	○	○	○

袋井ブランド農産物パワーアップ事業 【平成28年度予算額 1,180万円】

目的: 消費者ニーズに即した生産基盤整備とブランドPRの強化

袋井市の基幹作物であるメロン、お茶、お米をはじめ、近年では農林水産大臣賞を受賞したイチゴなど、本市には数々の全国に誇る高品質の袋井産農産物が存在します。高品質な農産物生産をさらに促進し、また、今こそ袋井の高品質農産物を首都圏や世界にPRし、農産物ばかりでなく、袋井市の認知度を高めるため、以下3つの事業を中心にH28農政課事業を進めます。

①ふくろい農産物ブランドプロモーション事業 ②袋井茶パワーアップ事業 ③東南アジア向けクラウンメロン輸出促進事業



袋井消防庁舎・(仮称)袋井市防災センター整備事業

予算額 1億6,700万円(組合分)
1億1,300万円(市分)
(うち組合への支出6,000万円含む)

整備の目的

- ① 消防庁舎と(仮称)防災センターを合同庁舎内に併設し、消防・市・消防団の連携強化を図り、様々な災害に対応する消防防災拠点施設として整備する。
- ② 火災、救急、救助、化学災害など、複雑多様化する災害への対応能力の向上を図る。また予測される南海トラフ巨大地震や水害への対策として、施設、車両、装備及び資機材等の消防防災力を確保し、災害対応体制の確立を図る。
- ③ 防火防災教育訓練施設を整備し、住民の自助・共助意識の向上を図る。



※このイメージは公募型プロポーザル時の図です。今後の基本設計によりイメージが変更する場合があります。

事業の現状

地域の安心・安全を守るための消防防災拠点施設となる袋井消防庁舎と、常設災害対策本部機能を有する(仮称)袋井市防災センター合同庁舎の基本設計業務委託業者が公募型プロポーザルで決定したことから、平成32年4月の開署を目指し、本格的に整備事業を開始します。

- (1) 契約先 株式会社梓設計 名古屋事務所(愛知県名古屋市中村区名駅南1-27-2)
- (2) 契約金額 38,337,840円(税込)
- (3) 履行期間 平成27年10月22日から平成28年3月31日(5月末までの繰越予定)

施設概要(H28.1末現在)

- ◆建設地 袋井市国本地内(市役所北東200m付近)
- ◆敷地面積 約8,200㎡
- ◆施設規模
本庁舎 延べ床面積 約4,700㎡(4階建て)
内訳・・・消防庁舎:約3,100㎡、防災センター:約700㎡、共有部分:約900㎡
その他施設
消防施設(組合):訓練塔2塔(約510㎡)、車庫棟、自家用給油設備(約2万リットル)など
防災施設(市):備蓄倉庫、ヘリポート

庁舎整備概要図

屋上	ヘリポート
4階	消防本部執務室 非常用発電機室 等
3階	大会議室 兼 災害対策消防本部 展示 コーナー (仮称)袋井市 防災センター
2階	消防署執務室 仮眠室・トレーニング室 等
1階	消防車両車庫 機材庫 等

建設予定地



整備スケジュール(案)

項目/年月		平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度			
		4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
委託	基本設計				→																				
	造成設計・測量				→																				
	地質調査				→																				
	実施設計								→																
用地	開発行為協議								→																
	土地収用法手続き								→																
	土地収用法事業認定												→												
	用地取得																								
工事	造成工事												→												
	建築工事																								
	外構工事																								
	開署																								◆

戦略的なシティプロモーションの展開 ～すべては、このまちの誇りのために、このまちの未来のために～

予算総額: 8,000万円

企画政策課にシティプロモーション室を新設！市民とともに“まちの魅力”を創造し、郷土への誇りと愛着を育むとともに、本市の多様な魅力を全国・世界に発信します。
シティプロモーションと広報を一体化、2019年「ラグビーワールドカップ」や2020年「東京五輪」を視野に、ドラマティックなストーリー展開を図り、自他ともに認める「住みよい街」を目指します。

都市ブランド化に向けた魅力の創造

目的

1. シビックプライドの醸成 2. 袋井市の認知度向上・イメージアップ

目標

目指せ！
全国認知度
300位



地域ブランド調査2015
認知度708位/1,000市区町村

「シティプロモーション戦略」策定

市民自らがまちの魅力を再認識し郷土への誇りや愛着を深めるとともに、この魅力を自らが語り部となって国内外に情報発信することにより、関与人口、さらには交流人口の増加を促す。

【戦略骨子】

- ・ブランドメッセージの確立
- ・ストーリー展開
- ・ターゲットの特定
- ・目標指標の設定
- ・コンテンツの整理
- ・ツールの選択
- ・推進体制

“地域の資源”を有効活用し、
市民一体とともに戦略的に情報発信

企画政策課シティプロモーション室

“シティプロモーションと広報を一元化” “情報発信を総括的にマネジメント”

市民ブロガーの育成

ふくろい未来大使の活用

ふくろい東京交流会の開催

ふるさと納税

地域資源の発掘

パブリシティ活動
(記者会見・情報提供)

広報ふくろい発行
公式ホームページの運用
メローねっとの運用
キャラクターの管理・活動

関係各課によるコンテンツの充実

メロン・米
イチゴ・茶

市民映画

全日本学生
フォーミュラ大会

可睡齋
ひなまつり

ラグビー
ワールドカップ

ふくろい
遠州の花火

全国ジュニア
エアロビック大会

遠州三山

袋井宿
開設400年祭

袋井市シティプロモーション戦略策定

予算額: 1,700千円

袋井市の魅力を全国・世界に発信する既存事業(戦術)を継続・発展させつつ体系化するとともに、市民、行政、企業、大学および関係団体等の各主体が、シティプロモーションに対する共通認識を持ち一体的に活動できるよう、目的や目標、基本方針などを共有する「シティプロモーション戦略」を策定します。
学識経験者や有識者を招き、市内外の声を傾聴しつつ、「ブランディングセミナー」などのワークによって市民とともに都市ブランド化に向けた魅力を創造し、これを実現するための戦略を練ります。

■地域ブランド調査2020 認知度300位以内

市民ブロガーの育成・支援

予算額: 2,300千円

市民の愛着心や郷土愛を育むとともに、市民が誇れる袋井市の魅力を国内外に発信します。
地域密着型ポータルブログサイト「はまぞう」との協働により、市民や市職員を市民ブロガーとして育成し、さらには本市の広報の一翼を担う「市民広報マン」として魅力的かつタイムリーな話題を強化発信します。



■市民広報マンの育成 2020年度までに300人

ふくろい未来大使

予算額: 1,700千円

各界で活躍の袋井市出身者やゆかりの方12名が務める「ふくろい未来大使」
各自の人的ネットワークを通じて、イベントの盛り上げや、市の認知度やイメージの向上、交流人口の増加につなげます。

■ふくろいを国内外に発信 本市イベントへの参加と活動先でのPR活動を展開

ふくろい東京交流会

予算額: 3,000千円

首都圏で活躍する袋井市出身者やゆかりの方が一堂に集う「ふくろい東京交流会」。
参加者のネットワークを生かし、東京を足掛かりに世界に袋井を発信します。

■首都圏の力をふるさと袋井へ ネットワークを活かしグローバルなまちへ

ふるさと納税の充実

予算額: 54,000千円

ふるさと納税を通じて、袋井市の魅力を広く全国へお届けします。
返礼品を充実させ、地場産業の活性化を図ります。

■納税寄付額 目標1億円 本市独自の豊富な特産物を返礼品に





～袋井宿開設四〇〇年記念で「まちづくり」～ 袋井宿開設四〇〇年記念事業を実施します

平成28年度予算額 9,740万円

テーマ ～ 時を超えて 夢をつなぐ ～

平成28年（2016年）は、1616年に東海道袋井宿が開設されてから400年目の記念の年となります。
この袋井宿開設四〇〇年を新たな“まちづくり”の節目ととらえ、市民との協働により“まちづくり・人づくり”に繋げるために、市民実行委員会とともに次の4つの目標を設定し、記念事業を実施していきます。

《4つの目標》

1 人材育成を主点においた地域力のアップ

市民実行委員会への参加・参画など“市民参加型”のイベントとすることで“まちづくり”や“市民活動”のきっかけとし、地域力の向上や地域活性化に繋げていく。

2 文化・歴史資源の保全と活用

袋井宿や東海道沿線の歴史的な地域資源を改めて見つめ直すとともに、現存している文化や歴史資源を適正に保全をし、後世に繋げていく。

3 新たな地域資源の発掘・創造とまちづくり

袋井宿の史実に基づいたパレードを行うことにより、現在の袋井市の出発点である「袋井宿」の歴史を再認識し、今までの歴史を振り返り、今後の“まちづくり”への出発点とする。

4 東海道五十三次どまん中ふくろいの全国発信

東海道五十三次袋井宿という宿場名と「どまん中」に位置することは、普遍的な地域資源であるため、積極的に「東海道どまん中ふくろい」を全国発信していく。

ソフト事業

「袋井宿開設四〇〇年記念祭」の開催

開催日：平成28年10月29日（土）・30日（日）

開催場所：袋井宿場及び周辺

開催内容：時代絵巻パレードと文化と物産（グルメ）の催し

28,000千円

イベント来場者数 約30,000人
（見込み）
イベント従事者数 約2,500人

時代絵巻パレード

※時代絵巻のパレードとは、袋井宿が開設された時代から、現代までの出来事を史実に基づき再現し、絵巻物を見るようなパレードを行います。

120人

袋井宿開設から

現代へ

武者行列



お茶壺道中



吉宗の象



近代行列・町人行列



現代パレード

※写真は、イメージです。

◎吹奏楽・マーチング

※現代パレードは、市民参加型とし、現代で行われている代表的なパレードを行います。

180人

◎仮装（コスプレ）行列

広く市民より参加者を公募し、市民参加型のパレード。

300人

◎総踊り

市内の各自治会や子ども会、市内各幼稚園の参加による市民全員での総踊り。

1,000人

ステージイベント

400人

「静橋北交差点」北東に整備を予定している「メモリアル施設」をメイン会場として、ステージイベントを開催する。
○ふくろい未来大使をはじめ、本市に縁のあるアーティストによるステージイベント
○市内の文化芸能の披露 等

大物産展

60店舗（200人）

東海道五十三次各宿駅、五街道「どまん中」交流、姉妹都市、友好都市など、本市に縁のある地域からの出展や袋井市観光協会に所属している市内の団体（市内全域）により大物産展を開催する。

◎市内の各自治会や子ども会等の地域住民、市内幼稚園・小中学校の子供たち、市内の高校生や市内活動団体などに参加してもらうことにより、かつての助郷制度をイメージし、袋井宿に市内全域から人が集まるイベントとしていく。

ソフト事業

歳時イベントの開催

※記念事業の周知及び地域住民の機運を盛り上げるため、記念事業本番に向け、袋井宿場公園をはじめ、袋井宿の街道沿い等を会場にイベントを開催する。

5月 ○街道ポタリング（自転車散歩）

6月 ○袋井宿de花マルシェ ○袋井宿スケッチ大会

7月 ○袋井宿なつごよみ



ハード事業

メモリアル施設の整備

44,770千円

「静橋北交差点」の北西を、四〇〇年記念事業メモリアル施設として、本年度は、袋井宿開設四〇〇年記念祭のメイン会場とするための整備を行う。

用地取得

設計・管理及びメモリアル施設第1期整備（木塀の設置 等）

袋井宿場公園の改修

20,000千円

メモリアル施設と隣接している袋井宿場公園を「袋井宿開設四〇〇年記念祭」で多くの来場者をおもてなしできるよう、トイレの改修や芝張り等の整備を行う。

トイレの改修、芝張り工 等

既存施設修繕・管理

4,000千円

袋井宿や東海道沿線に現存している文化や歴史的資源を適正に保全するための修繕を行う。

袋井宿東本陣公園、澤野記念館、東海道標・史跡標示標示柱、名所・旧跡説明案内板、浮世絵案内板などの改修 等



今後の「まちづくり」へ

施設の有効活用

継続事業

今回の記念事業を“まちづくり・人づくり”の起爆剤とし、一過性のイベントとして終わらないように「袋井宿場公園」や今回整備する「メモリアル施設」を有効に活用し、袋井宿で継続的なイベントを開始する等、袋井宿に新たに「にぎわい」を作り出していく。

平成28年度主要事業（重点事業）

～『子育て』『定住』『市民力』 戦略的投資でスタートダッシュ～

子育て・健康長寿への投資		H28予算額(千円)
“子どもや子育て世代が輝く”まち		1, 013, 809
《新》 “育ちの森” トータルサポート事業		133, 593
《新》 “子育て応援” 子ども・子育て支援事業		688, 050
《新》 産婦人科医院開業等支援事業		27, 850
〈拡〉 教育 I C T推進事業		98, 511
〈拡〉 いじめ・不登校未然防止支援事業		11, 113
《新》 ふくろい子育て応援ナビ「フッピーのぽっけ」本格運用		1, 000
《新》 アクティブ育児応援プログラム推進事業		1, 588
《新》 コミュニティ・スクール推進事業		66
《新》 教育施設維持管理事業（袋井北小・周南中学校増築）		52, 038

住み続けたいくなるまちへの投資		
“魅力的な住環境”で快適に暮らせるまち		429, 392
《新》 I C T街づくり推進事業		56, 000
《新》 歩いて楽しいまちづくり		106, 970
《新》 デマンドタクシーの導入		1, 355
《新》 給食野菜くず堆肥化プロジェクト		410
〈拡〉 袋井駅南地区まちづくり		102, 000 ※
《新》 住生活基本計画の策定		10, 495
《新》 若者が魅力を感じる公園づくり		750
〈拡〉 サイクルタウン推進事業		2, 326
〈拡〉 資源ごみ拠点回収事業		6, 743
〈拡〉 みつかわ夢の丘公園整備事業		164, 543
※一部再掲（22, 200）		

革新と創造で“活力みなぎる産業”のまち		110, 528
《新》 豊沢工業団地整備関連事業（藤ヶ谷川護岸整備）		90, 000
《新》 門前活性化プロジェクト		248
《新》 袋井商業高校5年制化推進事業		400
《新》 新観光案内所のオープン		1, 832
《新》 袋井ブランド農産物パワーアップ事業		11, 826
《新》 ふくろい創業支援事業		1, 122
〈拡〉 小笠山山麓開発事業		5, 100

未来を拓く市民への投資		
“市民一人ひとりが主役”のまち		197, 266
《新》 シティプロモーション事業		80, 322
《新》 公民館コミュニティセンター化事業		—
《新》 袋井宿開設四〇〇年記念事業		97, 396
《新》 ふくろい市民映画の製作		12, 712
《新》 袋井スポーツドリーム事業		5, 875
《新》 日本一健康文化都市条例の施行		—
〈拡〉 学校支援地域本部推進事業		961

“健康長寿”で暮らしを楽しむまち		H28予算額(千円)
《新》 3Days Worker’s Office構想推進事業		10, 300
《新》 総合体育館整備事業		55, 471
《新》 科学的健康増進プログラム開発事業		2, 154
《新》 糖尿病予防・撃退推進事業		4, 499
《新》 総合健康センターの充実		268, 246
子育て世代包括支援センターの設置		
聖隷袋井市民病院回復期リハビリテーション病棟開設		
《新》 健康塾開催事業		865

みんなが“安全・安心”に暮らせるまち		1, 582, 843
《新》 袋井消防庁舎・（仮称）袋井市防災センター整備事業		113, 362
《新》 袋井幸浦の丘プロジェクト		534, 900
《新》 平成の命山整備事業		395, 261
《新》 原子力災害時広域避難計画の策定		7, 300
《新》 災害現場等ドローン活用事業		720
《新》 家庭内減災対策推進事業		3, 662
《新》 高尾第1幹線改修事業		172, 000
《新》 自主防災隊避難所運営マニュアル作成		—
《新》 応急仮設住宅配置計画の見直し		4, 000
〈拡〉 同報無線デジタル化整備事業		351, 638

その他		
未来志向で大胆な改革		5, 174
《新》 公共施設マネジメント推進事業		5, 174

所管課	事業名	H28予算額(千円)	備考
-----	-----	------------	----

“子供や子育て世代が輝く” まち		1, 013, 809千円	
すこやか子ども課	“育ちの森” トータルサポート事業	133,593	◇児童発達支援事業(はぐくみ)、教育支援センター(ひまわり)、外国人児童・生徒初期支援教室、子ども支援トータルサポート事業(ぬっく)を、育ちの森として集約。所長を置き、教育部で一元的に所掌。
すこやか子ども課	“子育て応援” 子ども・子育て支援事業	688,050	◇（仮称）笠原認定こども園施設整備 ◇病児・病後児保育新規実施 ◇放課後児童クラブ新築・増改築（袋井北・笠原・袋井南・高南・浅羽南）【国補1/3・県補1/3】 ◇幼稚園預かり保育全園実施
地域包括ケア推進課	産婦人科医院開業等支援事業	27,850	◇市内に開業等を予定している産科医療施設に対する施設整備費補助事業。【県補1/2】 ◇ふくろいマタニティクリニック2,850千円、笠原産婦人科医院25,000千円
学校教育課	教育 I C T 推進事業	98,511	◇5小学校への電子黒板機能付きプロジェクター・書画カメラ等の整備 ◇校務支援ソフトの拡充 ◇全小学校へのデジタル教科書配備（国・算） ◇校務用兼授業用パソコンの更新
学校教育課	いじめ・不登校未然防止支援事業	11,113	◇平成26・27年度に浅羽中学校区で実施した「魅力ある学校づくり推進事業」を全中学校区に展開 ◇いじめ防止対策推進条例の策定 ◇教育心理検査Q－Uの実施（小2～中3）
すこやか子ども課	ふくろい子育て応援ナビ「フッピーのぽっけ」本格運用	1,000	◇平成27年度に開発した子育て応援ナビ（スマートフォンアプリ）の保守運用業務委託料
スポーツ推進課	アクティブ育児応援プログラム推進事業	1,588	◇運動不足の解消とワークライフバランスの実現のため、小学生未満の子どもとその親を対象として、うんどう教室等を実施。（10回／年開催予定）
学校教育課	コミュニティ・スクール推進事業	66	◇全小中学校へのコミュニティスクール導入（コミュニティスクール・・・学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民が参画できる仕組み）
教育企画課	教育施設維持管理事業（袋井北小・周南中学校増築）	52,038	◇学級数増により不足する教室の増築にかかる基本・実施設計（北小：4教室増築、周南中：6教室増築） ◇供用開始：平成30年度からの予定（北小、周南中ともに）

“健康長寿”で暮らしを楽しむまち		341, 535千円	
しあわせ推進課	3Days Worker’s Office構想推進事業	10,300	◇週3日程度の就労と一定の所得が得られる新しい働き方の仕組みづくり費用。 制度設計支援委託料10,000千円ほか
スポーツ推進課	総合体育館整備事業	55,471	◇7月入札公告、12月落札者決定予定 ◇総合体育館整備に伴う周辺道路整備 ◇P F I 手法による整備に向けたアドバイザー業務委託料
健康づくり課	科学的健康増進プログラム開発事業	2,154	◇平成26年度から、筑波大学 久野教授の助言のもと取り組んできたK P I（重要業績評価指標）の設定等を踏まえ、健康づくり35事業を評価・再編。平成28年度以降、P D C Aの確立を図る。（廃止：8事業、改善：11事業）
健康づくり課	糖尿病予防・撃退推進事業	4,499	◇本市の糖尿病有病者及び予備群が多い原因分析と予防・撃退方法の検討。（県7万件の特定健診データにより生活習慣の比較。運動習慣・食習慣のアンケート調査の実施。調査結果から対策方法を検討）
健康づくり課 地域包括ケア推進課	総合健康センターの充実(子育て世代包括支援センターの設置、聖隷袋井市民病院回復期リハビリテーション病棟開設)	268,246	◇総合健康センター内に子育て世代包括支援センターを設置。 ◇聖隷袋井市民病院に回復期リハビリテーション病棟(50床)を開設。
健康づくり課	健康塾開催事業	865	◇生活習慣病及び介護予防のための各種教室を実施。[男の健康道場(50歳以上の男性)、アンチエイジング教室(50歳以上の女性)、筋トレマシン教室(50歳以上の男女)]

所管課	事業名	H28予算額(千円)	備考
-----	-----	------------	----

“魅力的な住環境”で快適に暮らせるまち

429,392千円

企画政策課	I C T街づくり推進事業	56,000	◇情報セキュリティ強化対策、ペーパーレス会議の導入 ◇Wi-Fi環境の整備、ICTアドバイザーの招へい、行政情報のオープンデータ化
企画政策課	歩いて楽しいまちづくり	106,970	◇袋井宿開宿四〇〇年メモリアル広場整備 ◇（仮称）田端東遊水地公園、（仮）田端自歩道1号線、上久能26号線整備（設計） 【国補4/10】
市民協働課	デマンドタクシー導入	1,355	◇宇刈（春岡・可睡の杜を除く）、浅羽南地区にデマンドタクシー導入（H28.10月～）
環境政策課	給食野菜くず堆肥化プロジェクト	410	◇中部学校給食センターから排出される野菜くずの一部を堆肥化。（NPO法人やぐわりに堆肥化を委託） ◇年間10トンの野菜くずを投入し、1トンの堆肥を生成。
都市計画課	袋井駅南地区まちづくり	102,000 ※一部再掲（22,200）	◇田端東遊水地公園、（仮）田端自歩道1号線測量設計等 【国補4/10】（再掲） ◇袋井駅南都市拠点土地区画整理事業
都市計画課	住生活基本計画の策定	10,495	◇住宅施策全般の方向性を示す基本的な計画 ◇住環境の維持・向上、質の高い住宅ストックの形成、空き家対策などを定める【債務負担～H29】
都市整備課	若者が魅力を感じる公園づくり	750	◇若者のニーズに特化した利用ができる公園を整備するためのプランづくり（ドッグラン、ドローン、大型ラジコン等）
企画政策課	サイクルタウン推進事業	2,326	◇電動アシスト付自転車購入補助、電動アシスト付自転車貸し出し、市内事業所への自転車通勤の促進 ◇自転車ネットワークの構築、路面標示等に関する検討
環境政策課	資源ごみ拠点回収事業	6,743	◇現在中遠クリーンセンターで実施している資源ごみの拠点回収（毎週日曜日実施）を、市民の利便性を高めるため2カ所に拡充して実施する。
環境政策課	みつかわ夢の丘公園整備事業	164,543	◇園内の施設工事の実施。（計画期間：平成24～29年度）

革新と創造で“活力みなぎる産業”のまち

110,528千円

産業振興課	豊沢工業団地整備関連事業（藤ヶ谷川護岸整備）	90,000	◇豊沢工業団地整備に伴う藤ヶ谷川の護岸整備（計画期間：平成28～29年度） ◇河川の線形を整えるとともに、護岸を新設。
産業振興課	門前活性化プロジェクト	248	◇遠州三山門前活性化の推進。（寺関係者、門前店舗等とのワークショップの開催） ◇門前景観整備計画の策定検討。
市長公室	袋井商業高校5年制化推進事業	400	◇推進組織（市、商工会議所等）を設置し、県等と協議・調整
産業振興課	新観光案内所のオープン	1,832	◇新観光案内所（平成28年3月19日開所）の運営。 ◇お茶等の飲み物の提供や特産品等の物販を検討。
農政課	袋井ブランド農産物パワーアップ事業	11,826	◇袋井農産物PRの東京開催、東南アジア向けメロン輸出促進事業、茶生産の強靱化(品質・生産基盤)事業等の実施
産業振興課	ふくろい創業支援事業	1,122	◇金融機関、商業団体と連携し、創業者の掘り起こしや創業希望者を対象とした経営知識取得のための創業塾等を実施
産業振興課	小笠山山麓開発事業	5,100	◇小笠山山麓開発における道路用地測量の実施 ◇農振農用地の定期変更による区域除外を検討。

所管課	事業名	H28予算額(千円)	備 考
-----	-----	------------	-----

みんなが“安全・安心”に暮らせるまち

1, 582, 843千円

防災課	袋井消防庁舎・(仮称)袋井市防災センター整備事業	113,362	◇H32.4月開署予定 ◇H28：用地取得、実施設計 ※予算額は、袋井市負担額
建設課	袋井幸浦の丘プロジェクト	534,900	◇豊沢工業団地整備における発生土を活用し、防潮堤を整備（H27年2月～概ね15年間） ◇「幸浦の丘」利活用計画作成
市民サービス課	平成の命山整備事業	395,261	◇中新田地区：付帯工 ◇湊西、東同笠・大野地区：本体工、付帯工 【国庫2/3】
防災課	原子力災害時広域避難計画の策定	7,300	◇原子力災害時における避難先や避難方法を定める
防災課	災害現場等ドローン活用事業	720	◇災害時に被害状況を把握するため、ドローン1台を配備
防災課	家庭内減災対策推進事業	3,662	◇感震ブレーカー整備補助金を新設（補助対象：県の第4次地震被害想定による、大字別に10棟以上の火災発生件数が想定されている地区の木造住宅、補助率：1/2）
建設課	高尾第1幹線改修事業	172,000	◇【国庫1/2】H25～H29 ◇放水路改修工事
防災課	自主防災隊避難所運営マニュアル作成	—	◇自主防災隊ごとに、避難所開設後の運営マニュアル作成
防災課	応急仮設住宅配置計画の見直し	4,000	◇静岡県第4次地震被害想定に基づく見直し 需要家数：第3次被害想定 1,985世帯 → 第4次被害想定 2,105世帯
防災課	同報無線デジタル化整備事業	351,638	◇【国庫1/2】袋井地区屋外拡声子局整備（145局） ◇難聴地区屋外拡声子局新設

“市民一人ひとりが主役”のまち

197, 266千円

市長公室	シティプロモーション事業	80,322	◇市民広報マン（市民プロガー）を育成し、市内外へ情報発信 ◇ふるさと納税の拡充、ふくろい未来大使の活用促進
市民協働課	公民館コミュニティセンター化事業	—	◇H30年4月からの移行を目指し、検討組織を設置し、活動内容、人員体制等の検討を進める。
市民協働課	袋井宿開設四〇〇年記念事業	97,396	◇メモリアル広場整備、宿場公園トイレ等改修 ◇メインイベント（時代絵巻パレード、物産展、ステージイベント）、歳時イベントの実施
生涯学習課	ふくろい市民映画の製作	12,712	◇ふくろい市民映画製作実行委員会への映画製作補助（子どもたち対象の「袋井市の自慢」をテーマとした映像づくりワークショップを記録し、その中で成長する子どもたちの様子を描くドキュメンタリー映画）
スポーツ推進課	袋井スポーツドリーム事業	5,875	◇小笠山総合運動公園におけるスポーツビッグイベントを契機として、スポーツのまちづくりを推進。 H30：インターハイ(弓道) H31：ラグビーワールドカップ H32：オリンピック・パラリンピック事前合宿
企画政策課	日本一健康文化都市条例の施行	—	◇H28年4月施行
生涯学習課	学校支援地域本部推進事業	961	◇既存の袋井北・今井小学校区に加え、三川小・浅羽中でも本部を設立し実施。

未来志向で大胆な改革

5, 174千円

企画政策課	公共施設マネジメント推進事業	5,174	◇公共施設再配置事業化準備（事業着手の早いものから、事業化に向けた具体的な構想を策定）
-------	----------------	-------	---